

# 「園芸大国とちぎづくり」推進方針

栃木県農政部

本県農地の8割を占める水田を活用することで、収益性の高い園芸作物の振興を図り、「園芸大国とちぎ」の実現を目指す。

## 本県園芸の成長可能性

### 高い栽培技術

- ◆いちご、トマトの単収が**全国1, 2**
- ◆市場評価の高い**高品質な野菜生産**
- ◆**本県オリジナルの新品種**



### 十分に発揮されていない優位性

- ◆**圃場整備の進んだ水利に富む水田**
- ◆園芸作物に利用可能な**良質な堆肥**
- ◆**食品企業の周囲に広がる水田地帯**

▶ ▶ ▶ **成長可能性**をフルに発揮させる **園芸大国とちぎづくり** の推進

### 推進の考え方

- ◆高い技術力を活かした**施設園芸**のさらなる展開  
→技術革新による生産性向上、新たな主力品目の生産拡大等
- ◆水田を活かした**土地利用型園芸**の拡大  
→機械化一貫体系の導入、良質な堆肥の活用等
- ◆加工・業務用需要への**対応力強化**  
→食品企業との連携による大消費地への出荷等

### 推進方向

- ◆品目別**戦略**の展開
- ◆地域に応じた**経営モデル**の提示
- ◆新たな生産・流通体制の構築(**野菜クラスター**の育成)
- ◆園芸作物生産の**担い手確保**
- ◆推進に向けた**体制づくり**

## ▶ ▶ ▶ 目指すべき姿

高度な**施設園芸**と大規模な**露地野菜産地**が県内各地に広がる **収益性の高い園芸生産**

### 目標 (H27→H37)

園芸産出額：1,000億円→**1,300**億円  
園芸産出額全国順位：13位→**8**位

施設園芸産出額：661億円→**760**億円

露地野菜産地数(販売額5千万円以上)：16産地→**36**産地

野菜の加工・業務向け生産量：7,669t→**13,000**t